

PRINCETON ホームメディアサーバー (NASキット)
PAV-HMS420 / PAV-HMS220

Digital Creation Gear
Digizo

活用ガイド

DLNA サーバースoftware「Twonky Media Server」
メディアプレーヤースoftware「KODI」
リモートアクセスSoftware「Orbweb」

本書では、本製品付属アプリ「Twonky Media Server」[KODI]「Orbweb」の基本的な設定方法と主な使い方を紹介します。

本書をお読みいただく前に

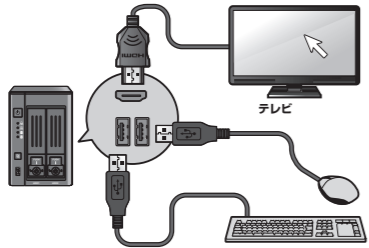
本書をお読みいただく前に、必ず「設定ガイド」に従って本製品の設置および設定を行ってください。

テレビと接続する

本製品をHDMIケーブルでテレビと接続して、本製品に保存されている様々なメディアを大画面で簡単に楽しむことができます。

- インターネットをテレビ画面で楽しむ
- 「KODI」を使用して動画や写真を大画面で楽しむ

1. 本製品の電源がオフの状態、テレビと本製品をHDMIケーブルまたはDisplayPortケーブルで接続します。
※ DisplayPortでの接続はPAV-HMD420のみ対応
2. USBマウスを本製品に接続します。



3. テレビの電源をオンにします。
4. 本製品の電源をオンにすると、テレビにメニュー画面が表示されます。



DLNA サーバースoftware「Twonky Media Server」

Twonky Media ServerはDLNAに対応したメディアサーバーです。サーバーに保存した動画/音楽/写真をDLNAまたはUPnP AVに準拠したクライアントから手軽に楽しむことができます。また、本製品はWAV/FLAC/DSD等のハイレゾファイルに対応しております。

注意 本記事は2016年11月時点の内容となります。最新の情報につきましてはTwonkyのホームページをご確認ください。

Step 1 Twonky Media Server の設定画面を表示する

1. ThecusOSにログインして「アプリセンター」を表示します。
2. 「Twonky」を選択します。



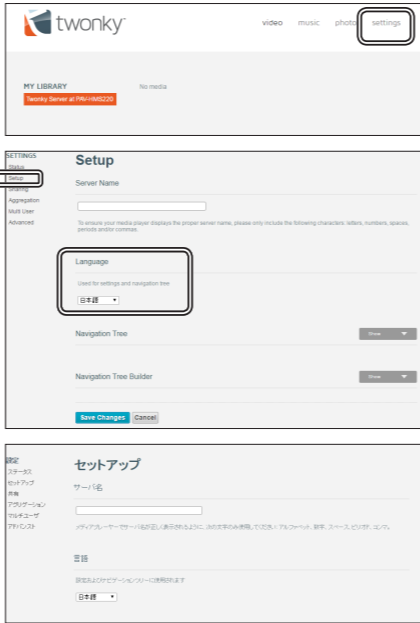
3. 「Allow user to use this module」にチェックを付けます。
[Display Shortcut on Desktop] にチェックを付けると、ThecusOSのホーム画面に「Twonky」のアイコンが表示されます。

[アプリページに入る]をクリックするとTwonkyの画面が表示されます。

Step 2 画面を日本語にする

初回起動時のTwonky Media Serverは英語表示となります。下記の手順で日本語に設定してください。

1. 画面右上の「[settings]」を選択します。
2. 画面左のメニューから「[Setup]」を選択します。
3. 「[Language]」のリストから「日本語」を選択して、画面下の「[Save Changes]」をクリックすると、画面表示が日本語に変わります。



Step 3 アクティベーション

「Twonky Media Server」のご利用にはアクティベーション（ライセンスキーの入力）が必要です。

ライセンスキーについて

画面左のメニューから「ステータス」を選択します。

本体底面に貼ってあるライセンスキーを「ライセンスキー」に入力して「入力」をクリックします。

注意 ライセンスキーを紛失した場合再発行できませんので、お取り扱いには十分ご注意ください。



Step 4 共有設定

Twonkyで共有したいメディアが保存されている場所を選択します。

画面左のメニューから「共有」を選択します。

初期設定では「NAS_Public」フォルダーが共有設定されており、「NAS_Public」フォルダーに保存されている動画や写真のクライアントから手軽に楽しむことができます。新たに保存フォルダーを指定する場合は、「新しいフォルダの追加」をクリックしてフォルダーの場所を設定してください。



Step 5 共有した動画や音楽を楽しむ

本製品と同一のネットワークに接続しているDLNAまたはUPnP AVに準拠したクライアントからTwonky Media Serverで共有したコンテンツの再生が可能です。DLNA (UPnP AV) 準拠のクライアントとしてPS3 / PS4、PAV-MP2YT / PAV-MP2YTHR等の機器があり、WindowsMediaPlayer12、KODIなどPCスマホ/タブレット用のDLNA (UPnP AV) 準拠のアプリケーションからの再生が可能です。詳しい使用法は、クライアント機器(またはソフトウェア)の取扱説明書をご確認ください。

※ 1 : 再生可能なファイル形式はDLNAサーバーとクライアントのどちらにも対応している形式に限ります。

以下の手順でTwonky Media Serverの設定画面からも視聴が可能です。

ThecusOSにログインしてデスクトップ上に作成された「Twonky」を選択します。



画面左の「マイライブラリ」で本製品(初期設定では「Twonky Server at PAV-HMS220」)を選択します。



共有設定されているフォルダー内に保存されている動画や写真などのサムネイルが表示され、再生ボタンをクリックすると再生を開始します。

メディアプレーヤースoftware「KODI」

KODIは数多くのファイル形式に対応したメディアプレーヤースoftwareです。本製品をメディアプレーヤースoftwareとして使用することができます。

KODIでは主に下記の内容が可能です。

- 本製品をHDMIケーブルでテレビと接続すれば、本製品に保存しているメディアファイルに加え、ネットワーク上のDLNAサーバーやファイル共有(SMB)に保存された様々なメディアも簡単に大画面で楽しむことができます。
- 本製品のUSBポートにマウス等のHIDデバイスを接続しての操作だけでは無く、専用リモコンアプリ「Kore」(無料)を使用すればスマホをKODIのリモコンとして使用できます。

注意 本記事は2016年11月時点の内容となります。最新の情報につきましてはKODIのホームページをご確認ください。

KODIを使用する前に

「テレビと接続する」を参照して本製品とテレビ、USBマウスを接続してください。

KODIを起動する

■「KODI」を手動で起動する場合

本製品とテレビを接続して、本製品を起動するとテレビにメニュー画面が表示されます。本製品に接続したUSBマウスを使用して「KODI」をクリックして起動します。



■「KODI」を自動で起動する場合

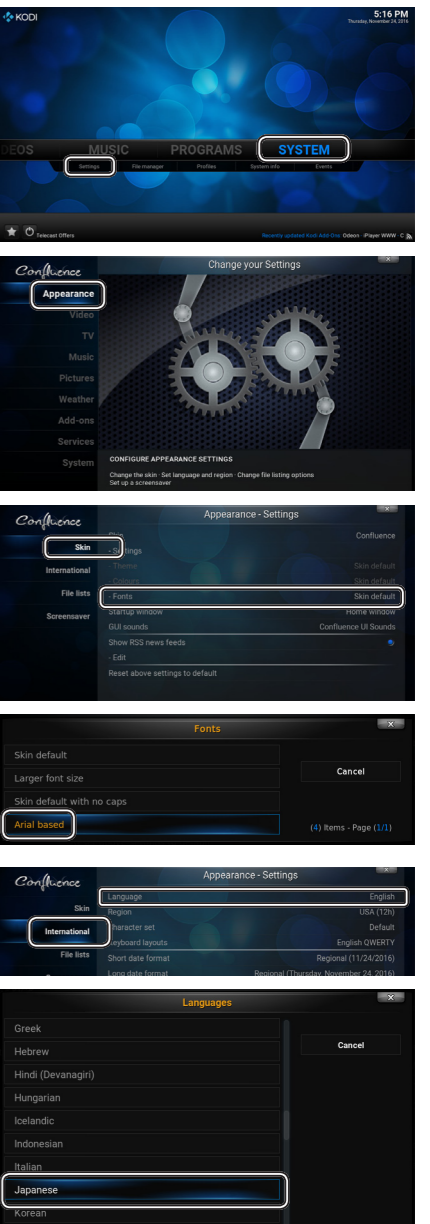
「KODI」は本製品の起動時に自動的に起動させることができます。

1. ThecusOSの「アプリセンター」を表示します。
2. インストール済みにある「KODI」から「[アプリページに入る]」ボタンを押します。
3. 「KODI」のアプリページにある「Auto Start」の「[Enable]」にチェックを入れて「[Apply]」ボタンを押します。

KODIを日本語にする

初回起動時のKODIは英語表示となります。下記の手順で日本語に設定してください。

1. KODIを起動して、「[SYSTEM]」⇒「[Setting]」の順に選択します。
2. 画面左のメニューから、「[Appearance]」を選択します。
3. 画面左のメニューの「[Skin]」が選択されていることを確認して、「[Fonts]」を選択して表示されたリストから「[Arial based]」を選択します。
4. 画面左のメニューから、「[International]」⇒「[Language]」の順に選択して、表示されたリストから「[Japanese]」を選択すると画面表示が日本語に変わります。



オーディオ出力デバイスの設定

音声の出力方法(デバイス)を設定します。

1. KODIを起動して、「[システム]」⇒「[設定]」⇒「[システム]」⇒「[オーディオハードウェア]」の順に選択します。
2. 「オーディオ出力デバイス」から出力するデバイスを選択します。



HDMIの場合では、通常「Default(HDA Intel PCH HDMI2)」が選択されていますが、音声が出力されない場合は、「HDA Intel PCH、モニタ名 onHDMI」に設定を変更してください。

PAV-HMS420をご利用の場合でSPDIFから出力する場合は「HDA Intel PCH、ALC262 Digital S/PDIF」を選択してください。

本製品に保存された動画を再生する

KODIからは「画像」「動画」「音楽」の再生が可能です。
KODIから本製品に保存されたファイルを再生する場合、下記の手順で行います。

1. KODIにファイルの保存場所（ソース）を追加
2. 追加したソースから再生するファイルを選択

設定例：「NAS_Public」に保存した動画を再生する場合

1. 最初に動画が保存されている場所（フォルダー）を指定します。
2. 「動画」⇒「ファイル」の順に選択します。
3. 「ファイル」⇒「ビデオを追加」の順に選択します。



4. 「参照」を選択します。



5. 「新しい共有の参照」画面が表示されたら、「ホームフォルダー」を選択し、引き続き表示される画面で「NAS_public」を選択します。



6. NAS_publicに保存されているフォルダーやファイルの一覧が表示されますので、「OK」を押します。



7. 「ビデオソースの追加」画面が表示されたら「OK」を押します。



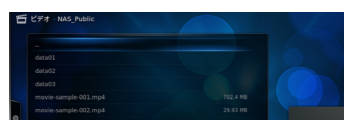
8. 「コンテンツを設定」の画面が表示されたら「OK」を押します。



9. 「動画」のファイル選択画面が表示され「NAS_public」が追加されます。



10. 「NAS_public」を選択すると、フォルダー内の動画ファイルを表示しますので再生したい動画ファイルを選択してください。

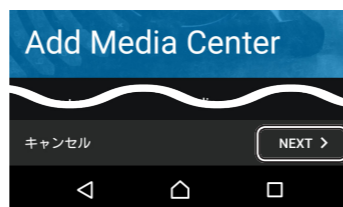


KODI をスマホから操作する（Kore について）

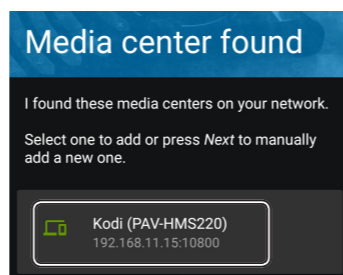
専用リモコンアプリ「Kore」（無料）を使用すればスマホをKODIのリモコンとして使用できます。（スマホは本製品と同一ネットワークに接続されている必要があります。）
https://kodi.tv/download/（英語サイト）を参照し、「Official remotes」に掲載されているご利用の端末に応じて、KODI専用リモコン「Kore」（Kore Official Remote for KODI）をダウンロードしてください。
（Kore™（Android）、Official Kodi Remote（iOS））

Kore の初期設定

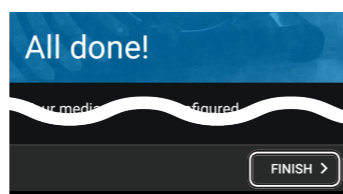
1. 「Kore」を起動します。
[NEXT]を押すと自動的にネットワーク上の本製品を検出します。



2. 検出された本製品を選択します。



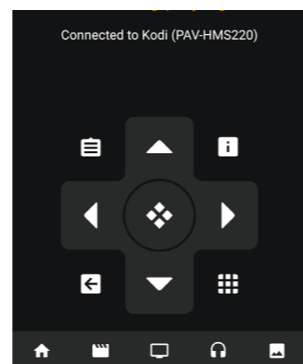
3. [FINISH]を押します。



Kore を使用する

本書の「KODIを起動する」を参照して「KODI」を起動します。

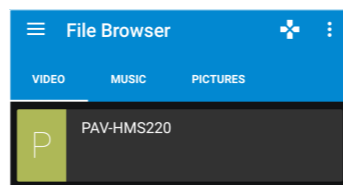
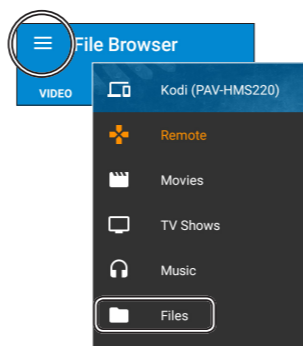
端末側で「Kore」を起動します。本製品と正しく接続されている場合「Connected to KODI(端末名)」と表示されます。



Koreの画面に表示されているボタンを操作してテレビ画面のKODIを操作することができます。

スマホで再生するファイルを選択してテレビに表示する

1. 画面左上のメニューボタンをタップしてメニューを表示し、「Files」を選択します。
2. 本製品を選択し、動画が保存されている場所を選択します。
3. 再生するファイルを選択すると、テレビ画面で再生が開始されます。



リモートアクセスソフトウェア「Orbweb」

Orbwebでは遠隔地から本製品内のデータにアクセスしたり、ウェブカメラを使用した遠隔監視などを使用することができます。

注意 本記事は2016年11月時点の内容となります。最新の情報につきましてはOrbwebのホームページをご確認ください。本アプリの初期設定およびご利用にあたっては、本製品およびThecusOSを操作するためのPCの他、下記の環境が必要ですのであらかじめご用意ください。

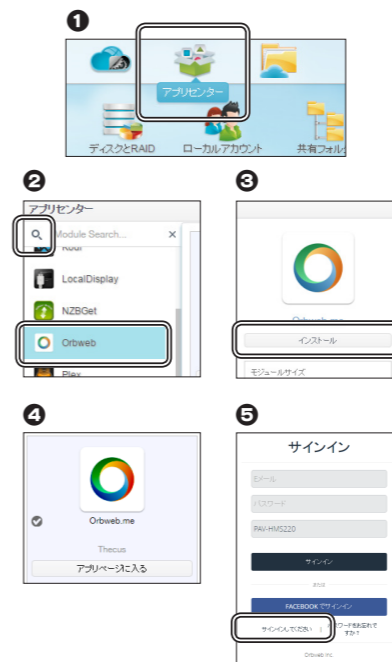
- ・本製品を設置している環境がインターネットに接続していること
- ・Orbweb登録用のEメールアドレス

本製品では下記の機能を使用できません。

- ・リモートデスクトップ機能
- ・遠隔地から本製品へのファイルのアップロード/ダウンロード（表示/再生などのファイルのアクセスは可能です）

Orbweb のインストール

1. ThecusOSの、アプリセンターを表示します。
2. 画面左上の「[検索]」ボタンをクリックすると、本製品にインストール可能なアプリのリストが表示されます。
3. リストから「Orbweb」を選択します。
4. 画面右に表示される「インストール」ボタンを押してインストールを開始します。
5. インストール完了後「アプリページに入る」を押します。
6. ログイン画面が表示されたら、画面一番下の「サインインしてください」を押します。登録画面が表示されたら必要事項を入力して登録します。
7. 入力完了後、登録に使用したEメールアドレス宛にメールが届きます。記載内容に従って登録を完了してください。



登録が完了したら、再度ThecusOSのアプリセンターを表示します。Orbweb [アプリページに入る] を押して、登録したアカウント情報でサインインしてください。正常にログインが完了したらログイン画面および管理者インターフェースを閉じて構いません。手動でサインアウトするか本製品の電源をオフにすると、Orbwebも停止します。

Orbweb の起動（サインイン）～クライアント端末の準備

Orbwebを利用する場合、下記の手順で操作してください。

Step 1 本製品のOrbwebを起動する

本製品のOrbwebが起動してサインインされていることを確認してください。

Step 2 クライアント端末の準備

■ スマホ/タブレットの場合

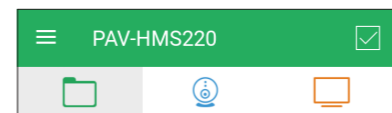
スマホやタブレットの場合、「App Store」または「Google Play ストア」から「Orbweb.me」をインストールしてください。アプリを起動後に表示されるログイン画面に、「Orbwebのインストール」で登録したアカウント情報を入力してサインインしてください。

■ Windows の場合

ブラウザで「https://orbweb.me/」にアクセスしてください。orbweb.meのサイトが表示されたら、「Orbwebのインストール」で登録したアカウント情報を入力してサインインしてください。

Step 3 クライアント端末でサインインが完了したら

クライアント端末からサインインすると、自動的に環境の準備が実行され本製品が検出され、画面に本製品型番が表示されます。（画面はAndroidの場合）



クライアント端末から本製品のファイルを表示する

注意 ご利用の端末によっては画面表示および操作方法が一部異なります。

初めに、表示したいファイルが保存されている本製品のフォルダーへのリンクを登録します。

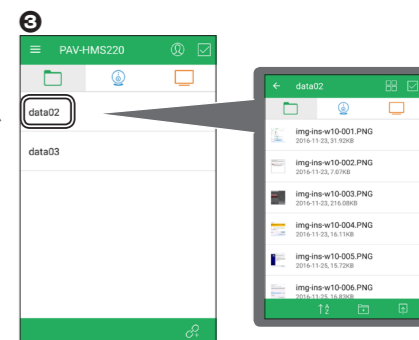
1. 「ファイルエクスプローラー」を選択し、「追加を開始」を押します。



2. 「ファイルエクスプローラー」画面に本製品の利用可能なフォルダーの一覧が表示されます。

表示したいファイルが保存されているフォルダーを選択して画面右下の「フォルダの追加」を押します。

3. 「ファイルエクスプローラー」画面にフォルダーへのリンクが追加されます。

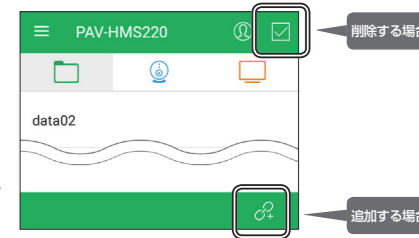


フォルダーへのリンクを追加する場合

フォルダーへのリンクを追加する場合は「アイコン」をタップします。以降の手順は上記と同様です。

フォルダーへのリンクを削除する場合

1. 画面右上の「削除」アイコンをタップします。
2. 削除するリンクにチェックを付けます。
3. 画面右下の「削除」アイコンをタップします。
4. 「フォルダのリンク解除」画面が表示されたら「OK」をタップします。

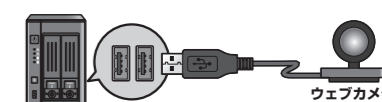


ウェブカメラを使用して遠隔監視をする

注意 本製品では、下記に記載のウェブカメラに対応しております。

- ・USB2.0 接続
- ・UVC 対応

1. 本製品にUSB接続でウェブカメラを接続して、本製品のOrbwebを起動してサインインしてください。



2. クライアント端末で「Orbweb.me」を起動し、「ウェブカメラ」を選択します。
3. 「ウェブカメラ」画面に本製品に接続されているウェブカメラの製品型番が表示されます。型番を選択すると、カメラ映像が表示されます。



ウェブカメラ画面の右上にあるメニューボタンより下記の操作が可能です。

■録画機能（Record）

「手動録画」を選択すると、映像の録画を開始します。クリップはWebcam（ウェブカメラ）フォルダーに保存されます。



■モーション検出機能（Motion Detection）

「モーション検出」を選択してモーション検出を有効/無効にします。カメラ映像内にモーション（物体の移動）が検出されると、録画が自動的に開始され、クリップがWebcam（ウェブカメラ）フォルダーに保存されます。

■スナップショット（Snapshot）

「スナップショット」を選択するとカメラ映像のスナップショットを撮ります。スナップショットはWebcam（ウェブカメラ）フォルダーに保存されます。